

従業者向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		園庭・ブレイルームの広さもあり、通常よりも広くとれていることで児童の活動の幅が広がるように行なえている
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		職員配置を基準よりも多めに配置出来ているため、利用児童の行動制限を減らし療育支援を行う事が出来ている
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		ブレイルームと職員室・相談室を視覚的のわかりやすくしており、段差などに関しても減らせるように行っており、視覚的に見えるもの見えない物に分けている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		送迎後の片づけを徹底しており、利用児童が来所した際、活動を考えやすい空間作りを気をつけている
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		特性が出た場合相談室などを利用してクールダウンが出来るように場所を確保しており、本人の気持ちを優先して活動が出来るようにしている
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		定期的なミーティングを行っており、計画から振り返りまで繰り返すようにしています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年一回評価表をつけていただき、それに伴う会議をもち改善策を行うこととしている。そのこと以外でも保護者の方の意向を聞く機会を設けており改善できるような体制をとっている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的な会議・面談を行い意見をあげてもらった事を行い改善が必要などが出ると改善を行い動いて行ける体制をとっている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修会への参加やオンライン研修会などに積極的に参加しているように職員間での周知参加を行っている
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	定期的な会議の中で様々な活動を調べ出しあいながら、利用児童が楽しみながら活動が出来るように療育プログラムを組むよう行っている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	定期的な会議を行うとともに、毎日時間をとりその日の活動を確認し支援を行う事としている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	日々ケア記録を作成し、活動に対して検証・改善を行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	定期的に保護者の方に来所していただきモニタリングを行うと共に、定期的な会議の中で必要性があれば見直しを行う体制を作り早期見直しができるようにしている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	学童交流の機会を頻りに設けてコミュニケーション能力の向上をはかっています。地域行事が行われる際には積極的に参加を行っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	保護者向けの研修会の実施を行い、その周知と参加を行っていただいている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	保護者の方へは入所を決める際の取り決めを行いその際に丁寧に説明をさせてもらっている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		年に3回、保護者・児童交流会を行い保護者も含めた交流を深められるよう行っている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情に関しては現段階では出てはいないが、第3者委員会も含め適切に対応できるように体制作りは行っている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報の取扱いに関して鍵付き書庫に収納するなどの留意するとともに会議中での確認も定期的に行っている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	8		社会福祉協議会主催のクリスマス会や餅つきなどに共同で開催することが出来た。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		全てのマニュアルに関して作成し、作成したものを職員間で共有・共通理解を深めるとともに訓練で内容を理解・把握している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		計画を策定し定期的にルート確認や訓練を実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		提供するおやつ等にも細心の注意を払い代替えを行っている。対象児・保護者の方と一緒に確認も行っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		計画を作成し、職員間でも確認必要であれば更新していき利用児童が安心して活動が出来るように支援を行っている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		ホームページや保護者交流会・保護者面談の中で定期的に現状の支援を伝えると共に周知を行っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット用紙を定期的な会議の中で話し合う場を設け再発防止策をその都度検討している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		管理者が研修会へ参加し、報告するとともにオンライン研修会を利用して全職員が把握・適切な対応が出来るよう行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		管理者が研修会へ参加し、報告するとともにオンライン研修会を利用して全職員が把握・適切な対応が出来るよう行っている。利用児童・保護者への説明もしっかりと丁寧に行うこととしている。	